

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 27 年 2 月 2 日

計画の名称	3 加賀地域の四季折々の風情を活かした観光誘客と物流の効率化によるモノづくり産業を支援する道路整備																				
計画の期間	平成21年度 ～ 平成25年度 (5年間)	交付対象	石川県、小松市、加賀市、白山市、能美市、川北町																		
計画の目標	加賀地域には、加賀温泉郷や白山国立公園などの観光資源が多く存在し、県内外から多くの観光客が訪れているが、近年、観光客数については毎年減少を続けている。また、数多くの工場が立地し、本県のモノづくり産業の中心地となっている。そこで、北陸自動車道や国道8号など主要幹線からのアクセス道路や施設間を連絡する道路整備と観光地周辺の道路や街並みを整備することで、走行の安全性・快適性を向上させ、観光交流の促進と物流の効率化を支援することで、地域の活性化を図る。																				
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 加賀地域には観光施設や工業団地が点在していることから、道路整備を行うことで、1年を通じて交通の安全性・快適性が確保されることにより、目的地への到着時間が短縮され、より多くの観光地への周遊、滞在時間の増加及び物流の効率化を図る。 																				
定量的指標の定義及び算定式			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H21当初)</th> <th>(H23末)</th> <th>(H25末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>113</td> <td>192</td> <td></td> </tr> <tr> <td>万人・時間/年</td> <td>万人・時間/年</td> <td>万人・時間/年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H21当初)	(H23末)	(H25末)	0	113	192		万人・時間/年	万人・時間/年	万人・時間/年	
定量的指標の現況値及び目標値			備考																		
当初現況値	中間目標値	最終目標値																			
(H21当初)	(H23末)	(H25末)																			
0	113	192																			
万人・時間/年	万人・時間/年	万人・時間/年																			
① 交流ふれあい時間 (交流ふれあい時間) = 整備による時間短縮 (整備延長 / (改良後速度 - 現況速度)) × 観光入り込み客数																					
全体事業費	合計 (A+B+C)	34,416百万円	A 32,834百万円 B 百万円 C 1,582百万円																		
			効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 4.6%																		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
石川県において評価を実施	事業完了後 公表の方法 石川県ホームページで公開

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・(主) 鶴来美川インター線の整備により、狹隘区間を避けて美川ICと白山麓地域を直結されたため、移動時間の短縮により、白山麓地域の観光施設で滞在時間が長くなった。 ・(主) 金沢小松線（加賀産業開発道路）の整備により、唯一の2車線区間が解消されたため、移動時間が短縮され、付近の観光施設での滞在時間が長くなった。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①（交流ふれあい時間）	最終目標値	192万人・時間/年	目標値と実績値に差が出た要因	平成25年3月の「のと里山海道の無料化」や、平成27年3月の「北陸新幹線金沢開業」などの効果を加賀地域へ波及させるため、集中的な投資により、完成の前倒しを行った路線があるため。
		最終実績値	196万人・時間/年		
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
	最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・(主) 鶴来美川インター線の整備により、美川ICへのアクセス性が向上したことから、周辺に位置する工業団地群の物流機能向上が図られるとともに、沿線に次世代産業を担う「炭素繊維複合材料」の研究拠点も整備されるなど、産業の集積が進んでいる。 				

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年2月の能越自動車道（七尾氷見道路）の開通や平成27年3月の北陸新幹線金沢開業など、石川県では新たな高速交通ネットワークの整備が進展することから、その効果を加賀地域へも最大限波及させるためにも、道路整備を進め、観光誘客につなげ、地域の活性化を図る。 ・加賀地域には多くの歴史的遺産や豊かな自然景観を活かした観光施設が多数存在していることから、これらの観光施設までのアクセス道路を整備することにより、移動時間を短縮させ、ふれあい時間をさらに長くすることができる、地域の活性化につなげることができる。
--